

## 住宅防火診断チェックリスト

住宅火災は、ちょっとした不注意から発生しますが

日ごろの点検と心がけで防ぐことができます。

あなたの住宅はだいじょうぶですか。点検していきましょう。

(※「住宅防火診断」は、火災事故発生防止を保証するものではありません。)

診 断 項 目			
【戸建・集合住宅共通編】			
たばこ	問 01	寝たばこはしていない（喫煙者はいない）	<input type="checkbox"/>
	問 02	たばこの吸い殻は水をかけて安全に処理している	<input type="checkbox"/>
台 所	問 03	コンロから離れる時は火を消している	<input type="checkbox"/>
	問 04	コンロのまわりに燃えやすいものは置いていない	<input type="checkbox"/>
	問 05	安全装置付き器具を設置している	<input type="checkbox"/>
	問 06	ガス漏れ警報器があるか	<input type="checkbox"/>
風呂場	問 07	追い炊き式なので空だきに注意している	<input type="checkbox"/>
放火対策	問 08	家のまわりに燃えやすいものを置いていない	<input type="checkbox"/>
	問 09	ごみは収集日の朝に出している	<input type="checkbox"/>
電気火災	問 10	「たこ足配線」はしていない	<input type="checkbox"/>
	問 11	電気コードを束ねて使用していない	<input type="checkbox"/>
	問 12	電気コードが机や家具の下敷きになっていない	<input type="checkbox"/>
	問 13	冷蔵庫などのコンセントは時々点検している	<input type="checkbox"/>
	問 14	コンセントはほこりを清掃し不必要なプラグは抜いている	<input type="checkbox"/>
ボンベ	問 15	ストーブなど火気の近くには置いていない	<input type="checkbox"/>
ストーブ	問 16	ストーブをつけたまま寝ていない	<input type="checkbox"/>
	問 17	ストーブの上に洗濯物を干すことはない	<input type="checkbox"/>
	問 18	石油ストーブは消してから給油している（使っていない）	<input type="checkbox"/>
火遊び	問 19	子供たちの見えるところにはライター等は置いていない	<input type="checkbox"/>
防災製品 防災器具	問 20	カーテン・衣服・寝具は「防災製品」を使っている ※1	<input type="checkbox"/>
	問 21	消火器を設置している ※2	<input type="checkbox"/>
	問 22	住宅用火災警報器を必要な場所に設置し、正常に作動するか確認している ※3	<input type="checkbox"/>
	問 23	住宅防火で常に気を使っているところがある	<input type="checkbox"/>

【集合住宅の追加項目】			
二方向避難	問 24	ベランダにある「仕切り板」の目的を知っているか	<input type="checkbox"/>
	問 25	ベランダの避難はしご（ハッチ）の使用方法を知っているか	<input type="checkbox"/>
	問 26	非常時に備えて、物を置かない	<input type="checkbox"/>
	問 27	避難経路を確認している	<input type="checkbox"/>
訓 練	問 28	消火・避難の訓練に参加している	<input type="checkbox"/>

- ※1 「防災製品」とは燃えにくい素材で作られた製品です。
- ※2 一般住宅に消火器を設置する義務はありませんが、設置されることをお勧めします。
- ※3 住宅用火災警報器の設置は義務づけられています。
- ※ 神戸市火災予防条例で、地階を除く階数が3である木造の住宅を建築しようとする者又は当該住宅に居住しようとする者は、3階に避難器具等を設けるよう努めなければならないとされています。

点
---

### 診断結果（チェックできた数）

- 21点～28点：住宅防火の気配りは万全です。（該当項目すべてOK）
- 10点～20点：防火意識が高いです。  
チェックできなかったところは改善し工夫していきましょう。
- 9点以下：注意が必要です。ご自宅を火災から守る対策を見直しましょう。

#### 【注意事項】

- お出かけ前、就寝前には、必ず火の元の点検を実施しましょう
- 安全に避難するため、老人・病人・幼児・体の不自由な方等の就寝場所は避難しやすい場所にしましょう
- 初期消火は、重要です。消火器や水バケツの用意をしましょう。
- 消防局への早い通報・正確な通報をするため、電話の近くに住所・氏名・目標物等を掲示しておきましょう。